


ミツバチの生態を知ることでもちのあり方や自然を守りつつ、地域経済の活性化に取り組む。	<b>取組開始時期</b>	2010年～	<b>取組の カテゴリ</b>	地域活性化
--	---------------	--------	---------------------	-------

<b>1. 団体名</b> 新垣養蜂園	<b>2. 連携先の 団体</b>	NPO首里まちづくり研究会・大名小学校・恩納村役場・南風原町役場・JA ・ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
---------------------	-----------------------	---

<b>3. 取組目的</b> 環境指標生物とも言われるミツバチを利用し、地域活性化を促進する。	<b>4. 関連する ゴール</b>	
---	------------------------	---

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

**南風原カボチャの交配用ミツバチの貸し出し】**

南風原町役場とJAの共同事業

ミツバチが受粉することで糖度、形、腐りにくいのが揃う付加価値のついたカボチャの生産性の向上。さらにミツバチが農薬の影響を受けやすいため、農薬使用料の減少に繋がり水質の保護に役立っている。**SDGs:2.4 6.6 12.8 12.b 17.17**

**【首里ミツバチ・花いっぱいプロジェクト】**

NPO法人 首里まちづくり研究会と協力体制

地域の特産品とセットにした地域店舗との商品開発などによる周遊性の付加価値を創出。ミツバチがいることで農薬等の軽減、緑地並びに水源(※ミツバチは巣の温度調整のために水を飲み、安全な水が必須)確保に役立つ。ミツバチ教室やシードボールづくり、ミツバチさんぽ（昆虫視点でまちあるき）によって、持続可能な社会づくりを昆虫視点で学ぶことができる。

地域再生大賞 優秀賞 主催：地方新聞社・共同通信社

※地域の特産品を生み出し、打ち上げの一部が寄付金になり首里のまちづくりへと活用される。

**SDGs:4.7 6.6 8.4 11.4 12.8 12.b 13.3 17.17**

**【大名小学校ミツバチプロジェクト】小学校との連携**

那覇市教育委員会 環境教育部門 最優秀賞

学校の屋上にミツバチを設置。ミツバチの生態について学ぶことで、持続可能な社会づくりを考える基礎となる知識を得ることができる。

実際にはちみつを生産に携わり、商品化、販売までと経済活動を学ぶことができる。さらに、収益を元に校内の緑化を行い、果樹等を植えることで循環型の環境創出に努めている。

**SDGs:2.4 4.7 6.6 8.4 8.9 11.4 12.8 12.b 13.3 15.1 15.4 17.17**

**【恩納村PROJECT Bee】恩納村役場協力**

赤土流出防止の緑肥で花による観光資源の開発と共にハチミツ採取を行い、特産品を生み出し、持続可能な農業スタイルの実現と自然保全を同時に行っている。

**SDGs:6.6 8.4 8.9 11.4 12.8 12.b 14.1 15.1 15.4 17.17**

**【ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城敷地内にて蜂箱設置】**

敷地内に蜂箱を設置し、採取されて蜂蜜を料理で使い、採蜜体験やロウソクづくりなどを通して多くの方へSDGsの啓発活動を行っている。

**SDGs:4.7 11.4 12.8 12.b 13.3 15.1 15.4 17.17**

**取組のポイント（3つの視点）**

**地方創生SDGsの視点**

ミツバチが半径2kmを拠点に飛び回るため、地域の自然環境を知ることができ、隠れた資源や街路樹の選定、コミュニティの創出に役立てることができる。

**ステークホルダーとの連携**

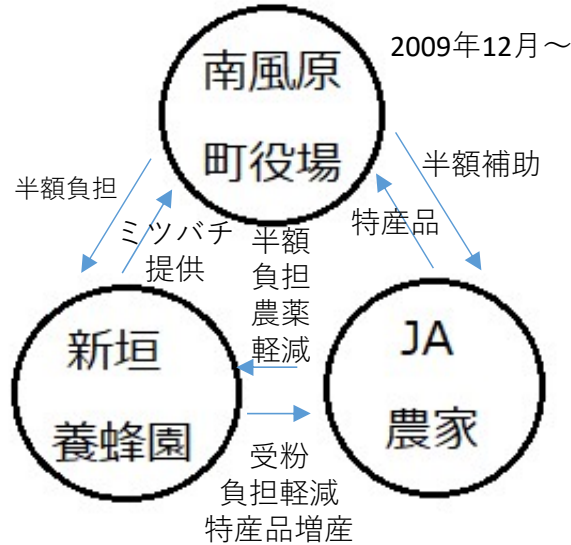
コミュニティを活性化するために成果物（はちみつ）を得ることができるため、さまざまな連携をとることができる。さらにミツバチの生態を学ぶことで環境学習ができるため、SDGsの視点を知るツールとしてミツバチは最適である。

**モデル性・波及性**

学校等への教育にミツバチを導入し、地元の自然や開発に目を向けやすく、地域で協力してくれる養蜂家がいれば波及しやすい。

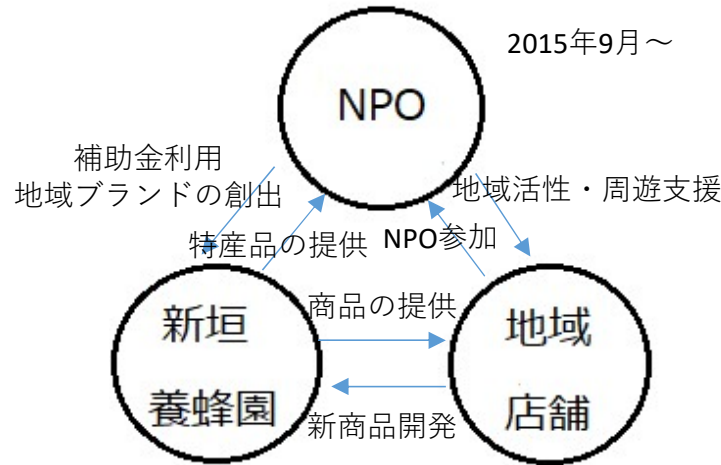
自由記述欄

南風原かぼちゃ



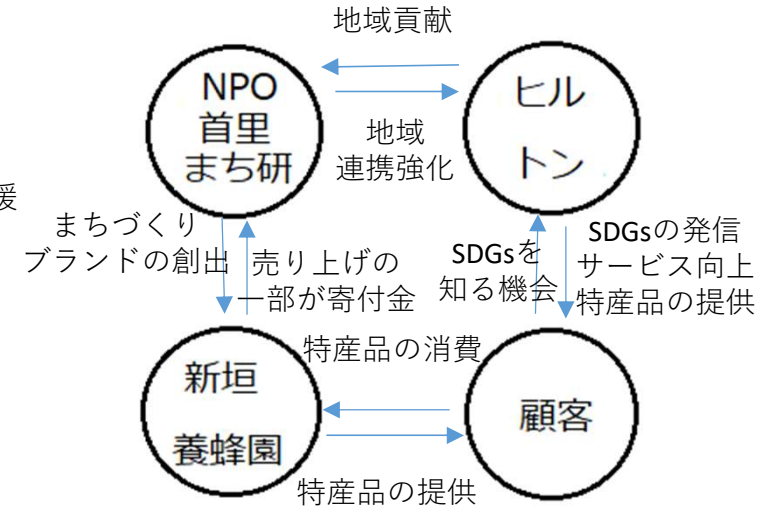
<http://haebaru.blog88.fc2.com/page-1.html>

首里ミツバチ・花いっぱいプロジェクト



<http://honeybee.e-sui.com/>

ヒルトン



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000022528.html>

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/507619>

大名小学校

2018年4月～

恩納村PROJECT BEE

2018年9月～

⑧まとめ

- 給食等での利用
- 今後の展望

①ミツバチ生態学習

②ミツバチウォーク

③④ミツバチの観察・採蜜体験

⑤⑥はちみつの商品化

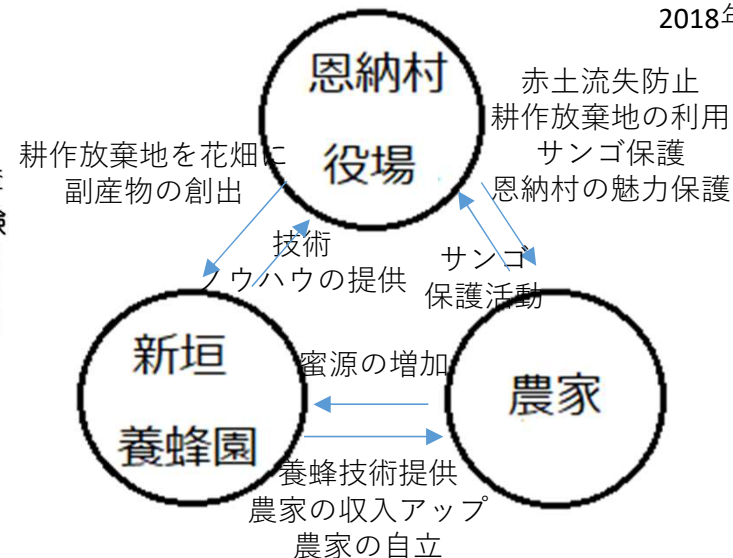
⑦緑化活動

・年間通して花が咲き、実が採れる環境づくり

・食料自給率の向上

・商品化する意図（コンセプト作り）

・ラベルで表現できるもの



<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/482273>

<https://www.qab.co.jp/news/20190617116242.html>